公益社団法人 日本家庭園芸普及協会
令和６年度事業報告

Ⅰ 会議に関する事項

１．定時社員総会

（１） 開催の日時及び場所

令和６年６月 14 日（金） 14 時～15 時 30 分
東京都千代田区 アルカディア市ヶ谷 3F 富士（西）

（２） 総会時の正会員総数と出席正会員数

正会員総数 111 社
出席正会員数 92 社(うち委任状出席 56 社、議決権行使書提出 15 社を含む)

（３） 審議事項

第１号議案 令和５年度事業報告(案)
第２号議案 令和５年度収支決算(案)並びに監査報告
第３号議案 理事の選任について
報告 1 令和６年度事業計画
報告 2 令和６年度収支予算
報告 3 「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2024」開催状況
報告 4 第３３回グリーンアドバイザー講習試験の募集について

（４） 議事の経過及び結果

司 会 者 滝口健一 理事・総務委員長
議 長 梅田公利 理事・副会長
議事録署名人 柴田貢 理事、滝口健一 理事

・第１号議案、第２号議案、第３号議案は、原案のとおり全員一致で可決承認された。
新任 理事 江本 千之 ㈱リッチェル 社長
〃 理事 税所 貢 ㈱フラワーオークションジャパン 次長

２．理 事 会

（１） 第１回理事会（役員会と合同）

令和６年５月 20 日（月）
ハイブリッド会議方式（実会場は エッサム神田ホール２号館）

〈審議事項〉
①令和６年度定時社員総会等の開催について
②令和５年度事業報告、収支決算（案）、監査報告について
③令和６年度理事選任（案）の定時社員総会上程について
④令和６年度常勤役員の報酬（案）について
⑤横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2024 開催報告及び次年度の取組について
⑥GREEN✕EXPO2027 出展に向けた取組み状況について
⑦後援・名義使用について

〈報告事項〉
⑧第 33 回グリーンアドバイザー講習試験の応募状況について
⑨賛助会員の退会について
⑩会長、副会長、専務理事及び運営理事の職務執行状況について
⑪「ハワイ オアフ島ガーデニング視察」催行中止について
⑫各委員会報告
⑬その他

（２） 第 2 回理事会（役員会と合同）
令和 6 年 11 月 7 日（木）
ハイブリッド会議方式（実会場は 大阪ガーデンパレス）

〈審議事項〉
①「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル」について（2024 開催準備、2025 開催概要と出展案内）
②今年度の収支見通し及び補正予算の編成について
③GREEN✕EXPO2027 出展準備について
④後援・名義使用について
⑤委員会委員の退任について
⑥令和 7 年度の海外研修について

〈報告事項〉
⑦令和 6 年度寄付の申し出状況について
⑧退会届について
⑨「令和 6 年度第 33 回グリーンアドバイザー認定講習試験」の実施結果について
⑩能登半島地震 被災地復興支援活動報告について
⑪グリーンアドバイザー新規登録者セミナーの開催について
⑫「令和 6 年度建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰」について
⑬会長、副会長、専務理事及び運営理事の職務執行状況について
⑭各委員会の動向について
⑮その他

（３） 第 3 回理事会（役員会と合同）
令和 7 年 3 月 10 日（月）
ハイブリッド会議方式（実会場はアルカディア市ヶ谷）

〈審議事項〉
①令和 6 年度収支見通し及び補正予算の編成について
②令和 7 年度事業計画案及び予算案について
③令和 7 年度資金調達及び設備投資の見込みについて
④令和 7 年度常勤役員の報酬（案）
⑤委員の選任について
⑥後援・協賛名義使用について
⑦横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2024 について
⑧GREEN✕EXPO2027 出展に向けた取組み状況について

〈報告事項〉
⑨会員の退会について
⑩各委員会報告
⑪その他

３．正副会長会議

令和６年　５月 15 日（水）
令和６年　７月（書面会議）
令和６年　８月 30 日（金）
令和６年 10 月（書面会議）
令和７年　３月　５日（水）

ハイブリッド会議方式及び書面で協会運営に関する主要課題の討議・確認等を行った。

４．委 員 会

（１） 総務委員会

協会運営及び財務調整等について打合せを行った。また、正副会長会議(5 月 15 日、8 月 30 日)、委員会委員長予算ヒアリング(2 月 17 日)への出席

（２） 広報委員会

ホームガーデニングの編集、ホームページの運営及び広報活動等についての打合せをメール等で実施した。

（３） 調査・研究委員会

継続調査である「家庭園芸に関するアンケート調査」や新規の GA 資格保有者の意識調査について、メール等で実施方法を検討した。

アンケート調査は横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2024（5 月 3 日～6 日)、JAPAN DIY ホームセンターショウ（8 月 30 日、31 日）にて実施し、調査結果を HP で公開した。

GA への意識調査は、GA コミュニケーションを活用して行い、HP の GA 専用ページで結果を公表した。

（４） グリーンアドバイザー委員会

グリーンアドバイザー認定講習・試験、認定更新、園芸ＣＰＤ制度運用、たねダンゴ普及事業を進めるために会議（8 月 28 日、12 月 23 日、2 月 13 日）を開催した。GA コミュニケーションを発行するための編集会議（6 月 7 日、12 月 9 日、3 月 10 日）や新規登録者セミナー（東京 12 月 10 日、大阪 12 月 17 日）を開催した。

（５） 教育・研修委員会

園芸セミナー、講演の実施に向けての調整や、令和７年度の海外研修の企画・募集のために会議（7 月 5 日、9 月 26 日、10 月 10 日、12 月 25 日、1 月 23 日、2 月 3 日）を開催し、実施に向けての準備を進めた。

（６） ショウ委員会

横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2024 及び 2025 実行委員会事務局が開催する会議（4 月 17 日、4 月 23 日、5 月 2 日、5 月 27 日、6 月 7 日、6 月 19 日、6 月 20 日、7 月 18 日、8 月 21 日、8 月 23 日、9 月 11 日、9 月 18 日、10 月 9 日、10 月 25 日、11 月 18 日、12 月 11 日、2 月 12 日、2 月 19 日、3 月 4 日、3 月 19 日）に出席し、ショウ開催の準備、実施の検証、2025 に向けた準備を進めた。また当協会が担当する分野の準備のために全体会議、グループ長会議、コンテストグループ会議（4 月 9 日、4 月 23 日、5 月 16 日、6 月 13 日、8 月 7 日、11 月 26 日、12 月 11 日、12 月 12 日、2 月 5 日）を開催した。

（７） 植物普及委員会

新規事業である能登半島震災復興支援事業の検討等のため、会議(8 月 8 日)を開催し、秋からの実施に向けた準備に取り組んだ。また、学識経験者等で構成する「たねダンゴ普及活動支援事業審査会」を 8 月 8 日、3 月 6 日に開催し、支援イベントを選定した。

Ⅱ 事業に関する事項

１．グリーンアドバイザー認定事業

平成 5 年に創設されたグリーンアドバイザー（ＧＡ）認定制度の趣旨に基づき､家庭園芸全般にわたり幅広く適切な助言や指導のできる人を養成するため、以下の事業を実施した。

（１） 令和６年度　第 33 回グリーンアドバイザー（ＧＡ）講習試験

講習をビデオ動画によるオンライン方式で実施し、試験については専用会場によるＣＢＴ方式で実施した。

※ＣＢＴ方式：全国のテストセンターに設置されたコンピューター端末を使って受験する試験方法

〇試験実施期間　令和 6 年 9 月 1 日（日）　～　9 月 30 日（月）
〇会　　場　全国 47 都道府県の合計 300 か所以上
〇講習・試験申込者　874 名　　当日受験者　792 名
〇合格者　　677 名

（２） グリーンアドバイザー認定更新

グリーンアドバイザーの資格認定の有効期限は５年間で、希望者は所定の手続きをすることで更新が可能になる。令和６年度の更新者数は以下の通り。

更新回数	認定登録時期	更新者数
初回更新	（第 28 回認定登録者）	362 名
2 回目更新	（第 23 回認定登録者）	339 名
3 回目更新	（第 18 回認定登録者）	336 名
4 回目更新	（第 13 回認定登録者）	231 名
5 回目更新	（第 8 回認定登録者）	159 名
6 回目更新	（第 3 回認定登録者）	124 名
合　　計		1,551 名

（３） グリーンアドバイザー認定審査会の開催

グリーンアドバイザー講習試験の実施方針の決定等を行うため、認定審査会を以下の通り実施した。

〇令和 6 年度 認定審査会　　令和 6 年 10 月 11 日（金）
・第 33 回グリーンアドバイザー講習試験の合否決定等について
・令和 6 年度グリーンアドバイザー登録更新の実施について
・第 34 回グリーンアドバイザー講習試験の実施方針について

（４） 関連事業の実施

① グリーンアドバイザー園芸ＣＰＤ制度の展開

本制度では、グリーンアドバイザーが日々の活動をレポートとして協会に申告し、その内容に応じて付与されるポイントを累積することで、各種称号が授与される。これにより、個人の継続的な自己研鑽を促し、地位向上にも役立てられている。今年度は、最高称号である「園芸ソムリエ」に４名を認定した。

② グリーンアドバイザーへの情報発信

刊行物「ＧＡコミュニケーション」やＧＡ専用ホームページにより、ＧＡ資格登録者に様々な情報発信を行った。

③「グリーンアドバイザーのいる店」登録制度

店の紹介など登録制度を活用してＧＡの存在を広く一般にＰＲした。

④ グリーンアドバイザー新規登録者セミナーの開催

今年度のグリーンアドバイザー認定講習・試験に合格して新規に登録した者を対象としたセミナーを 12 月 10 日(火)、東京都立庭園 清澄庭園大正記念館、12 月 17 日（火)、大阪産業創造館の 2 会場にて開催した。

２．家庭園芸に関する講習会・講演会の開催

広く家庭園芸に関する基礎知識、専門知識の普及を行うことを目的に、家庭園芸に関する以下の講習会、講演会を開催した。

（１）「家庭園芸実践スキルアップセミナー」の開催

「家庭園芸実践スキルアップセミナー」は、グリーンアドバイザーや一般の園芸愛好家を対象にシリーズ形式で実施している。今年度は従来の会場開催から SNS を活用した配信形式のみに移行し、「肥料と活力剤」に関する講習や「種苗会社による最新品種の紹介」を YouTube 動画で配信した。これにより多くの方々に手軽に参加していただける機会を提供した。

①肥料と活力剤

【タイトル：肥料はなぜ必要なのか～肥料の本質に迫る～】

・第１部 9 月 9 日、第 2 部 9 月 18 日　YouTube 配信
・講師：㈱ハイポネックスジャパン　猪俣正道

【タイトル：活力剤とは？その効果と使用テクニック】

・9 月 9 日　YouTube 配信
・講師：メネデール㈱　羽田一生

②種苗各社による新品種プレゼンテーション

【タイトル：～種苗会社 2025 年　イチオシ品種の紹介～】

・3 月 19 日　YouTube 配信
・参加企業：カネコ種苗㈱、サントリーフラワーズ㈱、横浜植木㈱
（敬称略・50 音順）

（２） 特別講演会の開催

園芸関係者・会員等を主な対象に、社員定時総会終了後と第 3 回理事会等役員会終了後に特別講演会を開催した。

①第１回特別講演会

・日　時：6 月 14 日（金）定時社員総会終了後
・場　所：アルカディア市ヶ谷

・講　師：飯島 健太郎 教授（東京都市大学）
・演　題：「家庭園芸における多肉植物の新たな可能性」

②第２回特別講演会

・日　時：11 月 7 日（木）理事会等役員会終了後
・場　所：大阪ガーデンパレス
・講　師：松尾 祐樹 マネージャー（(株)サンフラワーサービスまつおえんげい）
・演　題：「多様化に振り回されない専門店を目指して」

３．家庭園芸の普及・啓発に係る各種イベントの開催等

（１）「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル 2024」の開催

当協会は、「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2024」の実行委員会の主要構成員として、同フェスティバルの開催に携わった。本イベントは 2024 年 5 月 3 日（金）から 5 月 6 日（月）までの 4 日間、パシフィコ横浜の展示ホール AB を会場で開催され、35,094 人もの来場者を迎え、多くの来場者から高い評価をいただいた。

これらの活動を通じて、市民のガーデニングへの関心を高めるとともに、GREEN✕EXPO2027 に向けた機運醸成に寄与した。一方では運営面では予算を上回る負担金が発生するなどの課題も浮き彫りとなった。これを踏まえ、来年度のイベント参加に向けた運営体制の見直しや予算管理の改善が必要であると認識している。

・主　　催：横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2024 実行委員会
・構 成 団 体：ガーデンネックレス横浜実行委員会、(公社)日本家庭園芸普及協会、（株)ＮＨＫエデュケーショナル、(株)横浜国際平和会議場、(公社)2027 年国際園芸博覧会協会、(公財)横浜市緑の協会
・当協会担当：出展募集業務、ガーデニングコンテスト、ジャパンセレクション、ワークショップ、職業体験他

（２）「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2025」の準備

『横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2025』への参加にあたっては、運営リスクを負わない方針とし、さらに担当業務についても見直しを行った。この方針に基づき、8 月 20 日に設立された『横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2025 実行委員会』に参画し、開催準備に取組んだ。

（３）「2027 年国際園芸博覧会」への出展準備

2027 年に横浜市で開催される国際園芸博覧会への出展準備に取り組むために正副会長会議に GREEN✕EXPO2027 出展タスクフォースを設置し、出展内容の検討や応募手続き等を進めた。

屋内展示は短期出展部門に応募し、仮決定（期間：4 月 3 日から 11 日、規模：180 ㎡）となった。
屋外出展については、(公財）横浜市緑の協会と共同で大規模花壇（春咲き球根花壇、秋・初夏咲きたねダンゴ花壇）を出展するための準備を進めた。

(公社)2027年国際園芸博覧会協会が開催する「GREEN×EXPO2027 花と緑の共創推進会議」の「屋外出展分科会」、「屋内出展分科会」に参加し、出展に向けての情報収集等に取り組んだ。

４．家庭園芸に関する調査・研究

（１）「花と緑に関するアンケート」の実施

当協会では、家庭園芸の普及促進を目的として、『家庭園芸普及状況調査』（花と緑に関するアンケート）を継続的に実施している。

本年度は、横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024（5月3日～5日）およびJAPAN DIYホームセンターショウ（8月30日・31日）にてアンケートを実施し、その分析結果を『家庭における花と緑についてのアンケート集計結果』としてホームページに公開した。

（２）「グリーンアドバイザー意識調査」の実施

グリーンアドバイザーのサービス向上を図るため、意識調査を実施した。調査は、GAコミュニケーション誌に掲載したQRコードからGA専用ホームページのアンケート調査ページへ誘導する形式で行い、合計180名の回答を得た。調査結果はGA専用ホームページにて公表し、スキルアップ研修、GAコミュニケーション誌、協会ホームページの改善などに活用した。

５．家庭園芸に関する情報提供

家庭園芸の普及啓発を目的に、家庭園芸に関する事業・催事の告知や報告、花市場からの季節の花の紹介、さらに園芸初心者のためのコラムから指導者向けの専門的な記事まで、幅広い読者を対象に家庭園芸に関する有益な情報をホームページや印刷物によって発信した。

（１） 協会ホームページによる情報発信

協会の設立趣旨や事業内容を公示するだけでなく、協会が実施する各種公募の告知、園芸に関する最新情報の発信、スキルアップセミナーの動画配信などを行い、様々な層に向けて情報を発信した。

（２） 「Home Gardening」の発行

「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル2024」、GA認定試験の実施状況、各委員会事業など協会の事業活動の報告等を掲載し、ＰＤＦにしてメール配信で情報提供を行った。

（３） 「ＧＡコミュニケーション」の発行

定期刊行物の「GAコミュニケーション」（4回発行）では、「フラワーピックアップ」に花に関する最新情報、「横浜フラワー&ガーデンフェスティバル2024」「フラワートライアルジャパン2024秋」「種苗会社による春の一押し商品」の紹介記事や「能登半島地震被災地支援事業花いっぱいキャンペーンin能登」の活動記事を掲載し、「イベントカレンダー」や「GAのひろば」等で園芸に関する情報提供やGAの会の活動の紹介を行った。

（４） YouTubeチャンネル、インスタグラムでの情報発信

園芸愛好家や消費者が主にインターネット検索やSNSの口コミを通じて情報を得る現状を踏まえ、インスタグラムを活用したグリーンアドバイザー講習試験のPRや、日本家庭園芸普及協会のYouTubeチャンネルで『家

庭園芸実践スキルアップセミナー』を配信した（詳細は『2. 家庭園芸に関する講習会・講演会の開催』を参照）

６．家庭園芸に関する国際交流推進活動

本年度に計画していた海外研修『ハワイ・オアフ島ガーデニング視察』は、応募者が定員に達せず、やむを得ず中止となった。これを踏まえて、次年度の海外研修『シンガポール ガーデン視察ツアー』を新たに計画し、広く参加を呼びかけるための取り組みを強化した。

７．家庭園芸に関する緑花体験活動

主に園芸の初心者や子供たちを対象に、様々な「緑花」体験活動を実施した。栽培指導や助言に当たっては、いずれもグリーンアドバイザーをはじめとした専門家の協力を得ている。

（１） たねダンゴを通じた緑花体験活動

東北での『花と緑の復興支援活動』から生まれた新しい種まき手法『たねダンゴ』を活用し、緑花体験活動に重点を置いた取り組みを進めた。本年度は、『たねダンゴ指導員』の育成と、たねダンゴを活用した活動への支援を実施した。

① たねダンゴ®指導員養成セミナーの実施及びたねダンゴ指導員の認定

全国 7 市 9 会場で実施

6 月 5 日（横浜市）、6 月 21 日（岐阜県可児市ぎふワールド・ローズガーデン）、6 月 23 日（盛岡市）、6 月 28 日（松山市）、7 月 1 日（東京都）、7 月 8 日（金沢市）、10 月 8 日（横浜市）、10 月 15 日（大阪市）、10 月 16 日（郡山市）

※岐阜県での開催は、全国都市緑化ぎふフェアの協力事業として実施した。

② たねダンゴ普及イベント事業の実施

「横浜フラワー＆ガーデンフェスティバル 2024」（5 月 3 日～6 日）においてワークショップを実施した。

③ 「たねダンゴ普及活動 支援事業」の実施

たねダンゴ指導員を対象に「たねダンゴ」を使用する市民参加型イベントを募集し、学識経験者等で構成する審査会にて支援イベントを選定し、「たねダンゴ」用種子 （１企画当たり「たねダンゴ」1,000 個分相当）を無償提供する事業を実施した。

・秋まきイベントの募集 （締め切り：7 月 31 日）15 企画を選定

・春まきイベントの募集 （締め切り：2 月 28 日）18 企画を選定

８. 花と緑による復興支援活動の実施

令和 6 年元日に発生した能登半島地震で被災された地域や住民の皆様を花と緑で応援するため、グリーンアドバイザーを中心とした『花いっぱいキャンペーン』を実施した。

本活動は、10 月 15 日から 10 月 20 日にかけて、金沢市や能登半島の仮設住宅、神社、カフェ、マルシェ会場など 13 か所で実施し、たねダンゴづくりやプランターへの植え付けを行った。全国各地からグリーンアドバイザーをはじめ、そのご家族や友人、会員企業の皆様にボランティアとしてご参加いただいた。

９．その他

（１） 各種の行・催事や事業への参加・協力

国や地方公共団体及び花と緑の関係団体が行う各種イベント等に参加し、協力を行った。

（２）会員の異動状況

会員種別		令和6年3月31日現在	令和6年度異動		令和7年3月31日現在
			増	減	
正 会 員		111	0	2	109
賛助会員	法　人	4	0	0	4
	個　人	4	0	0	4
	小　計	8	0	0	8
合　計		119	0	2	117

【参考資料】　令和6年度役員 体制について（令和6年6月14日）

役員区分	委員会委員長	氏名	社名	役職	備考
代表理事･会長		坂田　宏	㈱サカタのタネ	社長	
理事･副会長		梅田 公利	住友化学園芸㈱	社長	
理事･副会長		佐藤 直樹	タキイ種苗㈱	取締役	
理事･副会長		村上 恭豊	㈱ハイポネックスジャパン	社長	
理事･専務理事		西川 嘉輝	（公社）日本家庭園芸普及協会	専務理事	
理事･運営理事	植物普及委員長	石川 治壱	㈱芳樹園	社長	
理事･運営理事	広報委員長	柴田　貢	柴田園芸刃物㈱	社長	
理事･運営理事	総務委員長	滝口 健一	レインボー薬品㈱	社長	
理事･運営理事	教育･研修委員長	羽田 一生	メネデール㈱	専務	
理事･運営理事	調査･研究委員長	山口　勇	カネコ種苗㈱　花き園芸部	取締役	
理事･運営理事	ｸﾞﾘｰﾝｱﾄﾞﾊﾞｲｻﾞｰ委員長	渡邊 秀一	横浜植木㈱	会長	
理事･運営理事	ショウ委員長	渡辺　優	渡辺泰㈱	社長	
理　事		上田 奈美	（一社）日本ﾊﾝｷﾞﾝｸﾞﾊﾞｽｹｯﾄ協会	理事長	
理　事		江本 千之	㈱リッチェル	社長	（新任）
理　事		大下 一明	フマキラー㈱	社長	
理　事		金尾 佳文	㈱welzo	社長	
理　事		税所　貢	㈱フラワーオークションジャパン	次長	（新任）
理　事		田中 隆夫	キンボシ㈱	社長	
理　事		月山 光夫	（一財）日本花普及センター	専務理事	
理　事		深町 貴子	㈲タカ･グリーン･フィールズ	専務	
理　事		村田 俊治	村田永楽園㈱	社長	
理　事		諸川 良太	京成バラ園芸㈱	社長	
理　事		四方 康範	サントリーフラワーズ㈱	社長	
監　事		杉村　謙	㈱オーシマ小野商事	社長	
監　事		森田 秀信	アップルウエアー㈱	社長	
監　事		吉村 定貢	大和プラ販㈱	専務	
顧　問		羽田 光一	メネデール㈱	社長	
参　与		石田 裕一	丸石園芸㈱	社長	
参　与		中島 吉之	中島商事㈱	社長	